

第 72 回 火力専門委員会 溶接分科会 議事録

- I. 日 時：2016 年 10 月 17 日（月） 13 時 30 分～17 時 50 分
II. 場 所：日本機械学会 3・4 会議室
III. 出席者：青山(東大)、櫛田(MHPS)、倉富(東電)、逢澤(MHPS 日立)、飯島(日溶協)、
大橋(中電)、水谷(東工大)、原田(東芝)、川端(関電)
欠 席：長谷川(発電技検)、飯田(東電)、山下(神鋼)、幅野(IHI)
オブザーバー：なし
事務局：原

IV. 配付資料

- 72-1 第 71 回溶接分科会議事録(案)
- 72-2 溶接分科会委員名簿
- 72-3 第 77 回火力専門委員会報告
- 72-4 第 78 回発電設備規格委員会議事録(案)
- 72-5 誤記対応方針(案)
- 72-6-1 レビュー票(MHPS 日立、コメント反映)
- 72-7 -1 レビュー票(ダブルチェック結果反映、中部電力)
- 72-7 -2 レビュー票(ダブルチェック結果反映、日本溶接協会)
- 72-8 審議履歴表
- 72-9 B31.1 材料のグループ番号の記載について
- 72-10 用語集
- 72-11 規格の概要説明資料(案)

V. 議事

1. 前回議事録確認 [資料 72-1]
前回議事録(案)について確認を行い、議事録(案)が承認された。
○ V-3-(1) 第 70 回構造分科会 → 第 70 回溶接分科会
2. 分科会委員・役員の承認 [資料 72-2]
○ 出席委員全員の賛成により、櫛田委員(副主査)、飯島委員を再任候補として、次回火力専門委員会へ推薦することが承認された。
3. 報告事項 [資料 72-3]
(1)火力専門委員会報告
8 月 24 日開催の第 77 回火力専門委員会の主要項目が報告された。
○ 火力専門委員会委員、各分科会委員の承認。
○ 第 71 回溶接分科会報告
・ 発電用火力設備規格 201X 年版レビュー票の審議状況

- ・レビュー票のダブルチェックの進め方の具体的な確認
- ・規格活用のための意見交換の内容紹介
- 審議結果報告
 - ・材料専門委員会へSN材の規格化に関するデータ解析結果の提供依頼について
 - ・火力関係規格の誤記対応方針(案)について（ご意見伺い）

(2) 規格委員会報告

[資料 72-4]

6月8日開催の第78回発電用設備規格委員会の主要項目が報告された。

- ・火力専門委員会(8/24開催)報告。

4. 審議事項

(1) 火力関係規格の誤記対応方針案について

[資料 72-5]

火力関係規格の誤記対応方針案について審議を行い、基本的に本対応方針案に賛成。意見照会への回答は、以下のとおり。

①誤記について、編集上の修正だけなのか、技術的なものも含めるのかなど、誤記の対象を明記した方が良い。

②正誤表を発行するのか、次期改訂(追補を含む)に含めるかなどの、判断の手順を説明した方が良い。

その他の質疑は以下のとおり。

○以前の版に基づいて製作した設備の修理において、その版の規格に誤りがあると好ましくないのではないか。

→ 火力設備の修理を行う場合は、基本的に最新の火技解釈が対象となるので、問題ない考える。

○至近は、どれくらいの期間を考えているのか。

→ 正誤表の作成に必要な期間などを考慮して、個別に判断していく。

(2) レビュー票審議

1) VI章 アーティクル 4 Appendix VII (MHPS 日立)

[資料 71-5]

逢澤委員から前回のコメントを反映したレビュー票について説明があり、審議を行った。コメント等は以下のとおり。

○ VII-410

- ・不完全部のタイプ → 不完全部の種類
- ・抜けている「incomplete penetration(溶込み不良)」を追加。

○ VII-423

- ・JIS Z2305,ISO9712,EN-473 は、orであることを明確にするため、JIS Z2305,ISO9712,EN-47 のいずれかの規格の定めるレベル…などに修正する。

○ JIS Z2305 の年版

非破壊検査員の資格に関して、JIS Z2305 の年版に 2001 年だけでなく、2013 年を追加することを、VI章アーティクル 1 担当の長谷川委員に相談する。

(3) レビュー票ダブルチェック結果反映

1) レビュー票（ダブルチェック結果反映、中部電力） [資料 72-7-1]

Ⅵ章アーティクル 6

大橋委員が、飯島委員のダブルチェック結果を反映したレビュー票を説明した。

○T-651

・ water washable …水洗性 （この部分も修正）

○T-676

・ interpretation 評価 → 判別

○T-676.2

・ 持ち帰って、文章を再検討する。

2) レビュー票(ダブルチェック結果反映、日本溶接協会) [資料 72-7-2]

Ⅵ章アーティクル 7

飯島委員が、再見直した結果を説明した。

○JIS の例を参考にした表現の見直しを行った。

・ 本規格 → この規格

・ より → よって

・ and/or … 及び／又は

○I-723, III-723, IV-723

・ the Inspector … 第三者検査員

・ satisfaction … 承認

(4) B31.1 材料のグループ番号の記載について [資料 72-9]

昨年の JESC 審議時の宿題となっている B31.1 材料のグループ番号の記載に関し、構造分科会からⅦ章に ASME の SectionⅨの QW-422 の表を取り入れるよう依頼があったため、樺田副主査が今までの経緯等を含めて資料を説明し、審議を行った。審議結果は以下のとおり。

①Ⅱ章の B31.1 材の許容応力表にグループ番号がなくても、規格の使用上問題が無いので、ASME の SectionⅨの QW-422 の表は取り入れないものとする。

その他質疑等

○将来、新しい材料が出て来て、グループ番号が必要になることは無いのか、また、その時今のままで大丈夫か。

→ B31.1 に新しい材料が追加になりグループ番号が必要となる場合には、B31.1 の材料の表にグループ番号が記載されるようになり、これに合わせ、表Ⅱ-1-4 が変わるものと思われる。

(5) 用語集のメンテナンスについて

○倉富幹事から、より使い易いよう、エクセルファイルを3つのシート、用語集【用語】、用語集【章・節等の区分】、用語集【その他】に分けた資料の紹介があり、今後この用語集をメンテナンスしていくこととした。

○用語集のメンテナンス、更新は分科会の各委員が行う。疑問がある場合には、分

科会の場で確認する。

- 用語集は各分科会共通のものをメンテナンスしていくことが望ましたので、各分科会委員がアクセスできるところにフォルダを設けて、ここに用語集を保存する。
保存場所 …… 火力専門委員会／98_火力用語集(各分科会共通)
フォルダの設置場所は、後ほどメールにても連絡する。

(6) 規格の活用について

[資料 72-7]

- 樺田副主査から、前回の議論を受けて作成した JSME 火力設備規格の概要、活用のイメージ・メリット等をまとめた資料の紹介があった。
- 本資料は、9 月に青山先生にご説明したもの。いただいたご意見は、メモにまとめて先生のご確認の後、各委員に配布する予定。主要なご意見については、この場で口頭にて説明があった。
- 各委員は本資料を確認し、特に PPT の 3,4 シートの溶接に係る部分について、意見・要望、追加事項等があれば、次の分科会までに三役に連絡する。
- 分科会での主なご意見は以下のとおり。
 - ・ JSME から発信できる規格を目指す。
 - ・ 例えはメンテで稼ぐなど、ビジネスモデルを考える。
 - ・ 日本が今まで築き上げてきた安全をベースに、金融・保険との連携。
 - ・ 4 シート目は、規格の適用イメージの範囲が、設計・建設の範囲だけなので、メンテにおいても活用できることが分かったと良い。

VI. 次回開催予定

- ・ 日時：2016 年 1 月 20 日（金）13 時 30 分から
- ・ 場所：東京大学 本郷

以 上